

特定非営利活動法人
大阪市地域福祉施設協議会

総 会 議 案 書

日時：2023年（令和5年）5月29日（月）

場所：大阪市社会福祉センター 301号室

◆ 議 案 ◆

- ① 2022年度事業報告
- ② 2022年度決算報告
- ③ 監 査 報 告
- ④ 役 員 改 選
- ⑤ 2023年度事業計画案
- ⑥ 2023年度事業予算案
- ⑦ そ の 他

2022年度 事業報告（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

①総会の開催《書面開催》 5月31日（月）

②役員会の開催 5月19日（木）、6月20日（月）、7月12日（火）、8月23日（火）
10月4日（火）、12月5日（月）、2月27日（月）

③施設長会の開催 新型ウィルス感染症の影響により、実施せず

④ 各種委員会の開催

- ◆ 定例企画委員会（合計6回） 事業等の企画・運営・調整
- ◆ 拡大企画委員会 事業等の企画・運営
- ◆ 研修委員会 各種分野別研究会等の計画・実施

- ① 地域の子ども研究会
- ② 地域の子育て支援研究会
- ③ 地域の障がい児・者研究会
- ④ セツルメント研究会

- ◆ 自然体験施設事業委員会 ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動（小・中・高生）
②びわこセツルの家改修工事

《 特別委員会 》

- ◆ バザー実行委員会 第22回自然体験施設応援バザーの企画、運営
- ◆ 全国研修会準備委員会 日地協主催 第27全国地域福祉施設研修会東京大会
- ◆ 全国児童部会準備委員会 日地協主催 第21回全国地域福祉施設研修会児童部会

- ◆ 日地協事務局長会議
5月16日（月）、6月13日（月）、7月14日（木）7月27日（水）、8月9日（火）
8月24日（水）、9月8日（木）9月15日（木）、10月31日（月）、1月24日（火）3月22日（水）

2. 年間行事

5月29日	ともだちドッジボール大会	長居小学校
5月31日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市社会福祉センター
7～8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月23日	第21回 全国地域福祉施設研修会児童部会	名古屋
11月13日	ともだちフェスティバル	雨天中止
11月 日	第64回 大都市社会福祉施設協議会	延期
1月13日	こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月 日	新年会	中止
1月22日	第22回 自然体験施設応援バザー	未定
2月18～19日	第27回 全国地域福祉施設研修会	東京都

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業報告

・ 5月19日	セツルの家利用打ち合わせ会	大阪市社会福祉センター
・ 7月 3日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月 8日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月～9月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 8月 1日	セツルの家消防訓練 (中止)	セツルの家
・ 9月 9日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月3～4日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月～6月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜側、駐車場側の草刈り・整備
- ・ 浜東側、溝の清掃・草刈り・整備
- ・ 本棟縁側床フローリング、本棟床基礎工事、畳新調、本棟玄関床フローリング
(無償ボランティアで工事をしてくれる)

③利用施設

- ・施設利用 16施設
- ・個人利用 2組

④利用泊数

- ・宿泊利用 26泊
- ・日帰り利用 6日
- 利用延べ人数 1,450人

(今年度も新型コロナウイルス禍での利用となり、泊数、利用人数が減少する)

⑤利用施設からのアンケート

- ・落雷に注意が必要。停電があった。
- ・万全の熱中症対策が必要。
- ・空気清浄機、エアコンで快適に過ごすことが出来た。
- ・本棟、別棟で「ムカデ」が出没し、刺され、病院を受診する。
- ・マムシが発見され駆除する。(2件)
- ・アシナガ蜂を頻繁に見かける。
- ・電気(冷房、電灯など)ガス、冷蔵庫内など利用の節目には確認をしてほしい。
- ・水難事故の注意喚起のため駐在所の訪問を受ける。
(隣の水上バイクの方たちに注意をしてくれる)。
- ・本棟の畳、フローリングの新調は大変有難く、快適に過ごせた。
- ・AED(小児、成人)の設置を希望します。
- ・7月22日、近隣の森さんから琵琶湖を漕いで「手漕ぎボート」を持ってきてくれ、寄付してくれる。
- ・遊泳場設置の件で観光協会、警察に確認、相談する。

⑥担当

宮川、竹内 (長居保育園)

4. ワークキャンプ

①活動報告

- ・詳細については、地域の子ども研究会の内容を参照。

5.自然体験施設応援バザー

①第23回 自然体験施設応援バザー

○担当施設：育徳園

○開催テーマ 「幸分 ～今、私たちにできること～」

○開催目標

(1) 幸せにつながるSDGs

子どもたちと未来を見つめ、かけがえのない自然を守るための活動に取り組む

(2) 支えとなる力

人と人のつながりを大切にし、一人ひとりの持つ力が生きる活動に取り組む

(3) 共生（とも）にあゆむ大地協

地域の文化や資源を理解し、地域と共生（とも）にあゆむ活動に取り組む

○開催日時：令和5年1月22日（日）

会場：育徳コミュニティーセンター・やまと保育園・長居保育園・阿さひ保育園

※大国保育園にて、同日開催予定だったが、インフルエンザ蔓延のため、令和5年3月4日（土）に延期。当日は、愛染橋保育園、大国保育園、わかくさ保育園3会場にて分かれて開催する。

○抽選券販売協力：ひまわりの郷

○寄付等：平和の子保育園 望之門保育園

○収益：1,054,795円（各会場収益、寄付等を含む）

○今回の特徴

- ・ 上記の開催目標を数年ぶりに見直し、SNS（インスタグラム）を活用し、セツルの家の魅力や加盟施設の取り組みを広く知っていただくこと、また、バザー会場を分散して感染対策に取り組むことを、新たに取り組んだ。
- ・ インスタグラムで写真や動画により楽しい情報を伝え、喜んでいただくことができた。施設紹介は、それぞれの施設が趣向を凝らして投稿し、とても興味深い内容となった。すべての加盟施設の投稿があれば、さらに大地協のことを知っていただけたのではないかと思う。
- ・ バザー会場分散型については、1か所参集型に比べると、施設間また職員間の“つながり”については、課題が残ったが、コロナ禍で行事が延期や縮小になることが多い中、大地協バザーの開催は、子どもも大人も笑顔になれたひとときであったことを実感した。
- ・ また、SDGsについては、引き続きバザー等を通して、取り組みを継続していきたい。

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第21回児童部会

- ◆ 日 程 2022年 9月 23日（金祝）
- ◆ 開催場所 愛知県 東部地域療育センターポケット（名古屋キリスト教社会館）
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協会
- ◆ テ ー マ ともに考え ともに学ぶ 子どもの権利って何
～半貧困学習から学ぶ 格差の連鎖を断つために～

② 2022年度 第27回全国地域福祉施設研修会

- ◆ 日 程 2023年 2月 18日（土）～ 19日（日）
- ◆ 開催場所 東京都 国際ファッションセンター
- ◆ 主 催 日本地域福祉施設協議会
東京都城東地区地域福祉施設協議会
- ◆ テ ー マ 地域福祉の未来にむけて
～ともにたがやす～

③ 全体研修会（地域福祉研修会）の実施

・ 6月17日（金）

小谷啓二先生（前大地協事務局長）の講演会

テーマ：「若き地域福祉の担い手のみなさんへ」

7. 各種分野別研究会

I. 地域の障がい児・者研究会

①活動方針

「地域の中で暮らしていく上での問題とは何かを明確にする」－発見

「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践

「共に学び、共に語る」－対等

②活動報告

(1) 研究会の開催

- 研究会メンバーによる運営会議と定例会に加え、大地協全体に周知してのオープン研修会を開催する。

	日時	内容	参加者
第1回	5/25	■運営会議 会場 (NPO 法人えん)	6名 内 Zoom1名
第2回	6/22	○「みんなのシャベリ場 part①」 ・zoom を使って、子どもたちとかかわる者同士が悩みなど、意見交換をする交流の場	7名
第3回	8/8	■定例会 (Zoom にて) ・10/19「みんなのシャベリ場 part②」、11/16 研修会開催に向けての計画 ・フリートーク ～ 抱撲奥田代表の植松死刑囚の話全員で考える～	6名
第4回	9/28	■運営会議 (Zoom にて) ・みんなのシャベリ場 part②、オープン研修会の打ち合わせと確認	8名
第5回	10/19	○「みんなのシャベリ場 part②」 会場：長居保育園 子どもとのかかわり方や保護者対応についての悩み	15名 内 長居7名
第6回	11/16	○オープン研修会 会場：大国保育園 「子ども理解を深めよう ～一人ひとりの子どもの感じ方の違いを学ぶ～」 講師 大阪公立大学 木曾 陽子 准教授	22名内 Zoom10名
第7回	1/18	■定例会 (Zoom にて) ・フリートーク ～ みんなのかかえる生きづらさとは～	8名
第8回	2/8	■運営会議、定例会 (Zoom にて) ・フリートーク ～ みんなのかかえる生きづらさとは partⅡ～	8名
第9回	3/14	■定例会 (Zoom にて) ・フリートーク ～ みんなのかかえる生きづらさとは partⅢ～	8名

Ⅱ. 地域の子ども研究会

①2022 年度の方針・目標

- 地域の子ども研究会目的『地域の子どもたちの豊かな生活・成長を目指す』
- 年間テーマ『地域の子どもに目を向け、アクションを！』

②活動報告

(1) 開催について

- 実施回数：28回 年間予定内の金曜日（おおよそ隔週）
- 開催時間：10：00～12：00
- 会場：研究会参加施設
- 参加施設、人数：10施設 11名

(2) 活動の4つの柱

ア) 子どもたちとの活動 【合同行事、施設間交流、中高生活動等】

◎ドッジボール大会

- ・ ねらい：子どもたちが自ら考え発言・行動できるようにする。
- ・ 日時 2022年5月29日(日)
- ・ 場所：長居小学校
- ・ 昨年度は、ともだちフェスティバルと同時日開催した。それを繋げるためのねらいを設け、勝負の要素、遊びの要素を複合して開催した。
- ・ 参加施設（人数）：9施設（257名）

◎ともだちフェスティバル

- ・ 当日、延期日、ともに雨天のため、来年度に延期となる。

◎セツルの家 ワークキャンプ

○2022年7月3日(日)

- ・ 6年生以上で企画をしていたが、当日の天候によって、急遽、高校生以上の参加とした。
- ・ 施設を使用するのみではなく、自然体験施設「セツルの家」の維持を自分たちで行う必要がある意識を持つことができるよう、参加し、開設作業をした。

○2022年11月6日(日)

- ・ 7月参加できなかった6年生と中学生を対象で行った。
- ・ 内容：上記の内容(こちらは開設作業)に併せて、他施設との交流を図れるよう、セツルの家を用いて遊びの面も充実させた。

◎子ども将棋大会

- ・ 日時 2023年1月13日(土)
- ・ 場所：育徳園子どもの家 早川記念ホール

- ・ 内容：各施設の将棋に取り組んでいる児童が集まり、それぞれの実力に伴ったリーグに分かれ、大会を行った。
- ・ 参加施設（児童数）：8 施設（56 名）

◎施設間交流

- ・ ねらい：①施設をこえて高学年がともに遊び交流を図る。
②各施設のあそびを共有し、自施設に帰って低学年と遊ぶことで施設内のあそびの充実を図る。
- ・ 日時 2023 年 2 月 4 日(土)
- ・ 場所：今池こどもの家
- ・ 内容：高学年以上の参加をメインにし、各施設での遊びやゲームを持ち寄り実施し、それを子どもから子どもへ還元できるように行う。
- ・ 参加施設（児童数）：6 施設（60 名）

イ) 情報交換 【情報交換・あそび提案】

○情報交換

- ・ ねらい：話し合う環境作りを整え、各施設に還元できるようにする。
- ・ 回数：9 回
- ・ 内容：各施設の様々な疑問や悩みを持ち寄り、施設に還元できるようディスカッションを行った。

○あそび紹介

- ・ ねらい：①施設内の子どもたちのあそびの充実を図る
②遊びを共有し、自施設に還元することで間接的に施設間交流を図る
- ・ 回数：4 回
- ・ 内容：紹介された遊びを、職員同士で実践し、各施設にすぐに還元できるように行った。

ウ) 研修活動

- ・ ねらい：『自分たちで学ぶ』『楽しく学ぶ』為に、研修方法を試行錯誤しながら、学びや知識・新しい考えを得られるようにする。

◎実践 キャンプファイヤー研修

- ・ 日時：2022 年 7 月 15 日(金)
- ・ 場所：金塚ふれあい公園
- ・ 内容：3 つの施設の職員がそれぞれの行っているキャンプファイヤーを実演した。その職員以外は小学生になりきり、全体で実演しながら、両方の視点から考えられるようにした。

◎実践 マジック研修

- ・ 日時 2022 年 11 月 25 日(金)
- ・ 場所：此花区こども子育てプラザ
- ・ 内容：プロの手品師の講師を招き、手品の指導を受け、2 グループに分かれ発表

の場を設けた。

◎見学 放課後等デイサービス 研修

- ・ 日時 2023年1月27日(金)
- ・ 場所：えがおの玉手箱
- ・ 内容：見学を兼ねて、放課後等デイサービスについてや、子どもたちの様子、関わり方、環境構成の考え方や整え方等々学んだ。

工) 研究活動

- ・ 2021年度に引き続き、「こどもの貧困について」、「愛着関係について」、「アンガーマネジメントについて」という3つのテーマで研究を行った。

③総評

- ・ 「地域の子ども研究会」の在り方を全体で考え、自施設の子どもだけではなく、「地域の子ども」にも再度目を向け、地域を取り巻きながら様々なことに取り組んでいけるような年間テーマを設定した。ねらいを達成するために、各施設、地域の子どもにどのような課題があるのかを話し合う機会を設けたり、様々な行事を企画する中で地域の子どもも参加することができたりできないか等話し合いを重ねた。実際に、地域のイベントに参加させていただき、子どもや保護者が感じている「居場所」についてのアンケート調査を実施した。
- ・ 子どもたちの交流を図るには、職員の交流から図ることが大切なのではないかと、環境作りに励み、とても話しやすい環境になったように感じた。
- ・ 今年度は、天候により実施できないことで、予定通り進まないこと行事があり、研究会内での行事に使う時間がかかり多かった。その結果、それ以外の活動に費やす時間が十分に持てなかった。もう少し様々な視点での想定をしながら、それ以外の活動がおざなりにならないように工夫をしながら、行事の進め方を考えていかなければならなかった。
- ・ 様々なニーズに合わせた年間テーマを設けることで、一人一人が、研究会内だけではなく、自施設での活動時にもそれを意識することができた。しかし、新型コロナウイルスへの規制緩和が少しずつ進む中での「アクション」への実践はまだまだ達成できなかった。

④今後の課題

- ・ 「地域の子ども研究会」だからできることは何か、毎年各施設、職員が考えて話し合う必要があると感じた。なぜなら、コロナ禍の形が変化していき、それに伴い、施設、地域、社会の課題も変化を感じているからである。しかし、これはコロナ禍であるからこそ見えやすく、気付けただけで、今までも様々なところでたくさんの変化はあったのではないだろうか。その様な変化を持った職員が集い、自施設だけではできないことを共に考えて実践していく必要がある。
- ・ それぞれの活動の進め方を再度確認し、更に、有意義な研究会になるよう、活動の進め方や時間の使い方等々見直していく必要がある。

Ⅲ. セツルメント研究会

①ねらい

- ・ セツルメント精神の継承（理論と実践）と新たなビジョンの構築をめざし、社会問題や地域課題への「早期発見、早期対応」と「予防」という視点を持ち、研究、研修活動に取り組む。行政が出来ない地域課題を担うのが、社会福祉法人でありNPO法人、民間の仕事であった。しかし、現在の社会福祉法人やNPO法人、民間施設は、制度の枠の中だけでの事業に限定され、自由度のない目の前のことだけをこなすに至っている。戦争、コロナ、貧困等、重層化している社会問題に対峙していくには「地域福祉施設」の役割を前面に押し出す必要性が高まる。セツルメント研究会は、地域福祉施設の指針となるような、研究、研修、調査を展開していくことが今年度のねらいである。

②活動報告

(1) 研究・研修活動

① 「平和ってなに」

日 時：2022年7月6日

場 所：望之門保育所 参加者 8名

テーマ：「今は平和ですか～平和ってなに～」

内 容：「僕たちは今平和なのかな？」

「私たちが平和ならいかに他国に平和を伝えられるか」

- 自己紹介とともに「自分が思う平和をイメージする色」を答えながらアイスブレイクをおこなう。虹色、緑、白、黄、青などの色が出される。
- 次に「平和ってなんだろう？」についてイメージを身近なことに置き換えながら、皆さんと考え、以下の様な問いをもとに、平和について考えた。
 - Q. 平和の音ってどんな音？…
 - ・ フワフワ、鳥の声、笑い声、動物の鳴き声、赤ちゃんの声
 - Q. 平和だなんて思うときはどんな時？…
 - ・ 朝日と夕日、セツルの朝から人間らしさ、何も考えない時、みんなで笑っている時、一仕事終わった時、子どもが笑っている時
 - Q. 平和な匂いってどんな匂い？…
 - ・ ご飯の匂い、自然の中にいる時の匂い、田舎の匂い、赤ちゃんの匂い、自然の匂い
 - Q. 平和を作れるアイテムがあるとしたらどんなもの？
 - ・ ボールでのキャチボール(言葉のいらないコミュニケーション)、ごはん(おなか一杯)、ペン、シャボン玉、素直なことしか言えない薬、愛
 - Q. 現在世界の各地で進行する悲惨な状況に目をむけ、「平和とはなにか」についての議論を深め、意見交換を行なった。
 - ・ 「銃弾が飛び交う中で上のようなことは感じにくいはず」「のんびりできる

時間があるからこそ感じれる平和」

■平和についての一言

- ・ マザー・テレサ『平和は微笑からはじまります』
- ・ ガンジー『平和への道はない。平和こそが道なのだ』
- ・ アインシュタイン『平和は力では保たれない。平和はただ分かりあうことで、達成できるのだ』
- ・ ジョンレノン『みんな平和について語るけど、誰もそれを平和な方法でやっていないんだ』

② 「片山潜の活動から学ぶ」

日時：令和4年9月27日（火）PM19：00～21：00

場所：育徳園保育所3階幸分ホール 司会：吉田 書記：山田 参加者：12名

内容：「片山潜のセツルメント活動から学ぶ」

～日本のセツルメントの始まり、労働・生活問題とアクションの役割～

講師：永岡 正己 氏（日本福祉大学名誉教授・大阪市社協福祉協議会会長・

大阪市地域福祉施設協議会元会長）

- ・ はじめに、日本で最初のセツルメントと言われる、片山潜のキングスレー館の設立背景。設立後の活動内容と様々な困難。片山が日本を離れるまでの歩みから、日本でセツルメントがどのような理念で導入されたかの理由を説明する。また、労働運動とセツルメントがどのように繋がり、活動自体が、なぜ続かなかったかを明らかにしたい。その内容を踏まえ、片山の活動がどのような歴史的意義があったのかを考察する。
- ・ 日本のセツルメントの原点として、その理念は誤解されたこともあった。日本社会の受け入れの仕方や、片山のセツルメントの活動が、今日にどのように再評価されたか、片山のセツルメントの活動から、現在に生かされるものが多くあり、その内容を紐解いていく。
- ・ 慈善、慈善事業、救済事業、社会事業、社会福祉の概念、地域福祉の歴史性
- ・ 片山潜とキングスレー会館の事例を通して、日本の近代都市形成期（産業革命期）の社会的実践の困難と、著書、雑誌論文、記事などの読み直し、国際セツルメント組織全史、シカゴのCommonsなどの雑誌、アメリカン・ボード文書類、公文書館所蔵史料などによって検討したい。
- ・ 片山の人格的な交流から課題を明確にする洞察力、社会に訴え運動を展開する行動力、素直に利他的な思考力には感銘を受ける。片山のセツルメント活動は、後世多くの人に影響を与え、現代に続く社会の仕組みの中にその考えや活動がある。また、著書を多く残していることで、片山の考えや活動に触れる機会が増え、再評価されるなど今の私たちの実践にいかす学びとなっている。侵略や紛争、環境問題、貧困・格差、コロナ禍など様々な社会問題に、地域福祉施設の実践者として バイアス がかかっていないかを意識し、今私たちにできることは何かを考え活動したい。

(3) 調査活動

- ・ 2022 年度セツルメント研究会メンバーと二度道頓堀から川沿いのフィールドワークを行った。その時は若者の姿は無く、情報収集も出来ない状況で終了した。
- ・ 今後、大阪だけの調査活動ではなく、名古屋ドンキ下や、東京東横イン下の若者に対して三都市同時に同じ調査を進められるかを検討する。また、職員の調査活動も大切ではあるが、今後のセツルメント、地域福祉を推進できるよう、研究活動を共に展開することが可能である大学に声掛けをして学生に調査の必要性等を伝え、新たな若い力を育てていくことも視野に入れ来年度活動実施に繋げていきたい。

IV. 地域の子育て支援研究会

①目的

- 子どもとどのように向き合い保育を行っているのか、施設を越えて情報交換をする
- 情報交換をする中で、共感や気づきに繋がり、より充実した保育を実現することを目的とする
- 職員同士が人としての繋がりを感じられ、気軽に集える場を目指す

②事業報告

- 4月21日(水) 13:00~14:00 オンラインミーティング
 - ・ 今年度のねらい・年間計画の共有、今後の予定と役割分担について
 - ・ 聖和保育園保育士を対象にアンケート実施に向けて内容を検討
- 7月6日(水) 13:00~14:00 オンラインミーティング
 - ・ アンケート回答より、学習会にどういったねらいを持ち要望するか協議
 - ・ 8月、聖和保育園見学・学習会を予定していたが延期
- 10月27日(木) 13:00~14:00 オンラインミーティング
 - ・ テーマ学習に至った経緯を再確認する(スタッフ増のため)
 - ・ 情報交換
- 12月2日(金) 13:00~14:00 オンラインミーティング
 - ・ 聖和保育園森本先生・長瀬先生と共に、見学に向けた事前打ち合わせ
- 12月2日(金) 19:30~ 会場：望之門
 - ・ 見学に向け、スタッフと打ち合わせ内容の共有、役割分担
- 12月20日(火) 10:00~12:00
 - ・ 聖和保育園施設見学・インタビュー学習会実施
テーマ：“違っていい”と感じる心が育つために ~違いを認め合う保育~
社会福祉法人 聖和共働福祉会 大阪聖和保育園 施設見学
森本宮仁子事務局長、長瀬光子園長へのインタビュー学習会
- 3月2日(木) 19:30~ 会場：望之門
 - ・ インタビュー学習会 DVD を視聴し、スタッフ間で意見交換

- ・ 自身の中にある偏見にどう向き合うか、私のあたりまえと他者のあたりまえの違いに出会った際に気付く否定的な気持ちを出し合い共有する。

③振り返り

- ・ 2021年度よりテーマ学習を続け、文化の違いに焦点を絞り学習を進めてきました。違いを考えていく中で、多数側にいる安心感や、少数側の不安・違うことはいけないことだどこかで思っている子ども達、大人の存在や偏見に気付きました。“違っていい”と子どもたちが安心して自己表現できるようさらに学んでいきたいと思います。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動報告

- ・ コロナ禍の為、昨年度に引き続き従来のような職員が一堂に会しての交流会が出来なかった。

9. 広報宣伝部

①ねらい

- ・ ホームページに大地協の活動を随時掲載し取り組みを広く一般に周知する。
- ・ メールングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 季刊誌大地協ニュースに大地協の活動を掲載し大地協の活動を、協力、賛同いただいている方々（加盟施設、個人会員、大学、図書館、関係機関等）に広く周知する。

②活動報告

- ・ ホームページに、大地協の年間活動報告、地域福祉の諸問題、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告など活動を掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。
- ・ メールングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 加盟施設職員でメールでの配信を希望する方に送信することを検討する。
- ・ 季刊誌大地協ニュースに大地協の活動を掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。

2022年度（令和4年度）活動計算書

(1枚目/5枚中)

科目	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	備考	
経常収益	1.受取会費	714,000	744,000	-30,000	
	正会員受取会費(団体)	630,000	675,000	-45,000	会費収入
	正会員受取会費(個人)	84,000	69,000	15,000	会費収入
	賛助会員受取会費(団体)	0	0	0	
	賛助会員受取会費(個人)	0	0	0	
	2.受取寄付金	30,000	0	30,000	
	受取寄付金	30,000	0	30,000	
	3.補助金・助成金	380,000	609,822	-229,822	
	補助金・助成金	380,000	609,822	-229,822	市社協 529,822円 毎日新聞社 80,000円
	4.事業収益	3,110,000	4,863,035	-1,753,035	
	調査研究事業	0	0	0	
	まちづくり事業	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	10,000	0	10,000	
	自然体験事業費	3,000,000	4,787,035	-1,787,035	セツルの家利用料 3,230,790円 バザー収入 1,556,245円
	子ども健全育成事業	100,000	76,000	24,000	地域の子ども研究会行事収入 14,000円 中高生活動参加費収入 62,000円
	その他事業	0	0	0	
	5.その他収益	706,450	1,456,308	-749,858	
	受取利息	50	69	-19	預金利息
	雑収入	10,000	0	10,000	
拠点区分繰入金収入	696,400	1,456,239	-759,839		
積立金取崩収入	0	0	0		
経常収益計	4,940,450	7,673,165	-2,732,715		
経常費用	1.事業費	3,875,900	4,696,370	-820,470	
	(1)人件費	0	0	0	
	職員給与	0	0	0	
	社会保険料	0	0	0	
	(2)その他経費	3,875,900	4,696,370	-820,470	
	調査研究・研修事業	280,000	20,360	259,640	木曾先生、森本先生講師謝礼
	まちづくり事業	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	0	0	0	
	自然体験事業	3,485,900	4,266,832	-780,932	
	・管理費	120,000	120,000	0	
	・バス借料	2,000,000	2,439,800	-439,800	
	・備品・器具	400,000	284,506	115,494	
	・修繕費	100,000	66,616	33,384	
	・保険料	90,000	92,250	-2,250	
	・光熱水費(電話)	426,000	451,612	-25,612	セツルの家運営経費 3,560,100円 山の家経費 141,748円
	・固定資産税	99,900	70,300	29,600	ワークキャンプ経費 245,049円 バザー経費 319,935円
	・自治会協力費	10,000	14,000	-4,000	
	・ワークキャンプ経費	80,000	245,049	-165,049	
	・雑費	160,000	482,699	-322,699	
	子ども健全育成事業	110,000	409,178	-299,178	地域の子ども研究会行事経費 103,514円 中高生活動活動経費 305,664円
	その他事業	0	0	0	
	2.管理費	550,500	771,019	-220,519	
	(1)人件費	0	0	0	
	職員給与	0	0	0	
	社会保険料	0	0	0	
	(2)その他経費	550,500	771,019	-220,519	
	事務費	260,500	258,421	2,079	大地協ニュース費用 128,364円 その他 132,136円
会議費	150,000	113,365	36,635	会議経費	
会費	110,000	110,000	0	日地協年会費 44,000円 施設協年会費 66,000円	
雑費	30,000	289,233	-259,233	国境無き医師団へ寄付 200,000円 その他 89,233円	
3.その他費用	1,230,000	1,456,239	-226,239		
予備費	200,000	0	200,000		
拠点区分繰入金支出	1,030,000	1,456,239	-426,239		
積立金積立支出	0	0	0		
経常費用計	5,656,400	6,923,628	-1,267,228		
当期正味財産増減額	-715,950	749,537	-1,465,487		
前期繰越正味財産額	2,200,623	2,200,623	0		
次期繰越正味財産額	1,484,673	2,950,160	-1,465,487		

2022年度（令和4年度）活動計算書（決算書-拠点区分別）

(2枚目/5枚中)

会計拠点	事務局 / 職員厚生部 / 広報宣伝部			セツルの家			山の家		
	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)
科目									
経常収益	1 受取会費	714,000	744,000	-30,000	0	0	0	0	0
	正会員受取会費（団体）	630,000	675,000	-45,000	0	0	0	0	0
	正会員受取会費（個人）	84,000	69,000	15,000	0	0	0	0	0
	賛助会員受取会費（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0
	賛助会員受取会費（個人）	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 受取寄付金	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0
	受取寄付金	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0
	3 補助金・助成金	200,000	200,000	0	180,000	180,000	0	0	0
	補助金・助成金	200,000	200,000	0	180,000	180,000	0	0	0
	4 事業収益	0	0	0	2,700,000	3,230,790	-530,790	0	0
	調査研究事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業費	0	0	0	2,700,000	3,230,790	-530,790	0	0
	子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	0	0
その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
5 その他収益	10,050	531,255	-521,205	425,000	500,004	-75,004	121,400	0	
受取利息	50	65	-15	0	4	-4	0	0	
雑収入	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金収入	0	531,190	-531,190	425,000	500,000	-75,000	121,400	0	
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	954,050	1,475,255	-521,205	3,305,000	3,910,794	-605,794	121,400	0	
経常費用	1 事業費	200,000	0	200,000	3,295,000	3,560,100	-265,100	120,900	141,748
	(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他経費	200,000	0	200,000	3,295,000	3,560,100	-265,100	120,900	141,748
	調査研究・研修事業	200,000	0	200,000	0	0	0	0	0
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業	0	0	0	3,295,000	3,560,100	-265,100	120,900	141,748
	・管理費	0	0	0	120,000	120,000	0	0	0
	・バス燃料	0	0	0	2,000,000	2,439,800	-439,800	0	0
	・備品・器具	0	0	0	400,000	284,506	115,494	0	0
	・修繕費	0	0	0	100,000	27,500	72,500	0	39,116
	・保険料	0	0	0	70,000	68,940	1,060	20,000	23,310
	・光熱水費（電話）	0	0	0	350,000	372,290	-22,290	76,000	79,322
	・固定資産税	0	0	0	75,000	70,300	4,700	24,900	0
	・自治会協力費	0	0	0	10,000	14,000	-4,000	0	0
	・ワークキャンプ経費	0	0	0	10,000	0	10,000	0	0
	・雑費	0	0	0	160,000	162,764	-2,764	0	0
	子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 管理費	540,000	565,495	-25,495	10,000	0	10,000	500	1,628
	(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他経費	540,000	565,495	-25,495	10,000	0	10,000	500	1,628
	事務費	250,000	255,716	-5,716	10,000	0	10,000	500	1,628
	会議費	150,000	113,365	36,635	0	0	0	0	0
	会費	110,000	110,000	0	0	0	0	0	0
	雑費	30,000	86,414	-56,414	0	0	0	0	0
3 その他費用	930,000	925,049	4,951	0	440,704	-440,704	0	0	
予備費	200,000	0	200,000	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	730,000	925,049	-195,049	0	440,704	-440,704	0	0	
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常費用計	1,670,000	1,490,544	179,456	3,305,000	4,000,804	-695,804	121,400	143,376	
当期正味財産増減額	-715,950	-15,289	-700,661	0	-90,010	90,010	0	-143,376	
前期繰越正味財産額	2,200,623	2,200,623	0	0	0	0	0	0	
次期繰越正味財産額	1,484,673	2,185,334	-700,661	0	-90,010	90,010	0	-143,376	

2022年度（令和4年度）活動計算書（予算書-拠点区分別）

(3枚目/5枚中)

会計拠点	科目	ワークキャンプ			バザー			地域の子ども研究会		
		今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)
経常収益	1.受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	賛助会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	賛助会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2.受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3.補助金・助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補助金・助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4.事業収益	0	0	0	300,000	1,556,245	-1,256,245	110,000	14,000	96,000
	調査研究事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
	自然体験事業費	0	0	0	300,000	1,556,245	-1,256,245	0	0	0
子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	100,000	14,000	86,000	
その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5.その他収益	70,000	245,049	-175,049	0	0	0	0	180,000	-180,000	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金収入	70,000	245,049	-175,049	0	0	0	0	180,000	-180,000	
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	70,000	245,049	-175,049	300,000	1,556,245	-1,256,245	110,000	194,000	-84,000	
経常費用	1.事業費	70,000	245,049	-175,049	0	319,935	-319,935	110,000	103,514	6,486
	(1)人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2)その他経費	70,000	245,049	-175,049	0	319,935	-319,935	110,000	103,514	6,486
	調査研究・研修事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然体験事業	70,000	245,049	-175,049	0	319,935	-319,935	0	0	0
	・管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・バス借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・備品・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・光熱水費(電話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	・ワークキャンプ経費	70,000	245,049	-175,049	0	0	0	0	0	0
	・雑費	0	0	0	0	319,935	-319,935	0	0	0
	子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	110,000	103,514	6,486
	その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2.管理費	0	0	0	0	201,077	-201,077	0	0	0
	(1)人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2)その他経費	0	0	0	0	201,077	-201,077	0	0	0	
事務費	0	0	0	0	1,077	-1,077	0	0	0	
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	200,000	-200,000	0	0	0	
3.その他費用	0	0	0	300,000	0	300,000	0	90,486	-90,486	
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分繰入金支出	0	0	0	300,000	0	300,000	0	90,486	-90,486	
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常費用計	70,000	245,049	-175,049	300,000	521,012	-221,012	110,000	194,000	-84,000	
当期正味財産増減額	0	0	0	0	1,035,233	-1,035,233	0	0	0	
前期繰越正味財産額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
次期繰越正味財産額	0	0	0	0	1,035,233	-1,035,233	0	0	0	

2022年度（令和4年度）活動計算書（予算書-拠点区分別）

(4 枚目/5 枚中)

会計拠点 科目	地域の子育て支援研究会			地域の障がい児・者研究会			セツルメント研究会		
	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)	今年度予算額	今年度決算額	増減(△)
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 補助金・助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金・助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	20,000	0	20,000	40,000	0	40,000	20,000	0	20,000
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金収入	20,000	0	20,000	40,000	0	40,000	20,000	0	20,000
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
經常収益計	20,000	0	20,000	40,000	0	40,000	20,000	0	20,000
1. 事業費	20,000	10,000	10,000	40,000	10,360	29,640	20,000	0	20,000
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費	20,000	10,000	10,000	40,000	10,360	29,640	20,000	0	20,000
調査研究・研修事業	20,000	10,000	10,000	40,000	10,360	29,640	20,000	0	20,000
まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然体験事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・バス燃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・備品・器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・光熱水費(電話)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・固定資産税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・自治会協力費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・ワークキャンプ経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 管理費	0	2,819	-2,819	0	0	0	0	0	0
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費	0	2,819	-2,819	0	0	0	0	0	0
事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	2,819	-2,819	0	0	0	0	0	0
3. その他費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
經常費用計	20,000	12,819	7,181	40,000	10,360	29,640	20,000	0	20,000
当期正味財産増減額	0	-12,819	12,819	0	-10,360	10,360	0	0	0
前期繰越正味財産額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
次期繰越正味財産額	0	-12,819	12,819	0	-10,360	10,360	0	0	0

2022年度（令和4年度）活動計算書（予算書-拠点区分別）

（5枚目/5枚中）

会計拠点		(仮) 中高生活動		
科目		今年度予算額	今年度決算額	増減(△)
経常収益	1. 受取会費	0	0	0
	正会員受取会費（団体）		0	0
	正会員受取会費（個人）		0	0
	賛助会員受取会費（団体）		0	0
	賛助会員受取会費（個人）		0	0
	2. 受取寄付金		0	0
	受取寄付金		0	0
	3. 補助金・助成金		229,822	-229,822
	補助金・助成金		229,822	-229,822
	4. 事業収益	0	62,000	-62,000
	調査研究事業		0	0
	まちづくり事業		0	0
	スポーツ文化的事業		0	0
	自然体験事業費		0	0
	子ども健全育成事業		62,000	-62,000
その他事業		0	0	
5. その他収益	0	0	0	
受取利息		0	0	
雑収入		0	0	
拠点区分繰入金収入		0	0	
積立金取崩収入		0	0	
経常収益計	0	291,822	-291,822	
経常費用	1. 事業費	0	305,664	-305,664
	(1) 人件費	0	0	0
	職員給与		0	0
	社会保険料		0	0
	(2) その他経費	0	305,664	-305,664
	調査研究・研修事業		0	0
	まちづくり事業		0	0
	スポーツ文化的事業		0	0
	自然体験事業	0	0	0
	・管理費		0	0
	・バス借料		0	0
	・備品・器具		0	0
	・修繕費		0	0
	・保険料		0	0
	・光熱水費（電話）		0	0
	・固定資産税		0	0
	・自治会協力費		0	0
	・ワークキャンプ経費		0	0
	・雑費		0	0
	子ども健全育成事業		305,664	-305,664
	その他事業		0	0
	2. 管理費	0	0	0
	(1) 人件費	0	0	0
	職員給与		0	0
	社会保険料		0	0
	(2) その他経費	0	0	0
	事務費		0	0
会議費		0	0	
会費		0	0	
雑費		0	0	
3. その他費用	0	0	0	
予備費		0	0	
拠点区分繰入金支出		0	0	
積立金積立支出		0	0	
経常費用計	0	305,664	-305,664	
当期正味財産増減額	0	-13,842	13,842	
前期繰越正味財産額	0	0	0	
次期繰越正味財産額	0	-13,842	13,842	

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会
会長 松野 五郎 様

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会の監査結果について

帳簿、領収証等精査した結果、適性に処理されていることを確認いたしました
ことをご報告いたします。

2023 年 5 月 19 日 (土)

NPO 法人 大阪市地域福祉施設協議会

監事 伊田 正三 

監事 篠瀬 史 

2023年度 事業計画（案）

1. 総会、役員会、委員会の活動

- | | |
|----------------|---|
| ① 総会の開催 <書面審議> | 5月29日(月) |
| ② 役員会の開催 | 随時 |
| ③ 施設長会の開催 | 随時 |
| ④ 各種委員会の開催 | |
| ◆ 定例企画委員会 | 事業等の企画・運営・調整 |
| ◆ 拡大企画委員会 | 事業等の企画・運営 |
| ◆ 研修委員会 | 各種分野別研究会等の計画・実施 |
| | ① 地域の子ども研究会 |
| | ② 地域の子育て支援研究会 |
| | ③ 地域の障がい児・者研究会 |
| | ④ セツルメント研究会 |
| ◆ 自然体験施設事業委員会 | ①びわこ青柳浜 セツルの家の運営と活動
ワークキャンプ活動（小・中・高生）
②びわこセツルの家改修工事 |
| 《 特別委員会 》 | |
| ◆ バザー実行委員会 | 第24回自然体験施設応援バザーの企画・運営 |
| ◆ 全国研修会準備委員会 | 日地協 第28全国地域福祉施設研修会大会 |
| ◆ 全国児童部会準備委員会 | 日地協 第22回全国地域福祉施設研修会児童部会 |

2. 年間行事

5月28日	ともだちフェスティバル	
5月29日	大阪市地域福祉施設協議会総会	大阪市社会福祉センター
7～ 8月	びわこキャンプ場 セツルの家の利用	滋賀県大津市青柳浜
9月23日	第21回 全国地域福祉施設研修会児童部会	名古屋
11月 日	ともだちドッジボール大会	未定
11月 28日	第64回 大都市社会福祉施設協議会	広島市
1月 日	こども将棋大会	育徳園早川記念ホール
1月 日	新年会	未定
未定	第22回 自然体験施設応援バザー	未定
2月18～19日	第28回 全国地域福祉施設研修会	愛知県

3. びわこキャンプ場セツルの家の運営

①年間事業計画

・ 5月19日	セツルの家利用打ち合わせ会	大阪市社会福祉センター
・ 7月 2日	セツルの家ワークキャンプ	セツルの家
・ 7月 6日	セツルの家開設準備	セツルの家
・ 7月～8月	セツルの家夏季利用	セツルの家
・ 8月 日	セツルの家消防訓練（担当施設：育徳園）	セツルの家
・ 9月 5日	セツルの家夏季利用片付け	セツルの家
・ 9月～ 日	中高生キャンプ	セツルの家
・ 9月～6月	セツルの家夏季外利用	セツルの家

②施設整備

- ・ 浜、駐車場の清掃・草刈り・整備
- ・ 浜東側、溝の清掃・整備
- ・ 本棟床下、基礎部分補修工事
- ・ 4月24日遊泳場設置の件で観光協会、警察に確認、相談する。今後も引き続きの検討課題とする。

4. ワークキャンプ

①活動計画

- ・ 7月2日(日)、琵琶湖セツルの家を拠点としたワークキャンプ活動を実施していく予定。

5.自然体験施設応援バザー

①第24回 自然体験施設応援バザー

日 程 未定
開催場所(担当) 未定

6. 職員の研修会の開催・参加

① 全国地域福祉施設研修会 第22回児童部会

◆日 程 2023年 月 日()
◆開催場所 未定
◆主 催 日本地域福祉施設協議会
東京都城東地区地域福祉施設協議会

② 2023年度 第28回全国地域福祉施設研修会

◆日 程 2024年 未定
◆開催場所 名古屋キリスト教社会館
◆主 催 日本地域福祉施設協議会
東海地区地域福祉推進協会

③ 全体研修会(地域福祉研修会)の実施

- ・ 12月9日(土)、西成区社会福祉協議会と共催にて映画上映会「隣る人」を行う予定。(場所:西成区民センター 大ホール)

7. 各種分野別研究会

I. 地域の障がい児・者研究会

①活動方針

- 「地域の中で暮らしていく上での問題は何かを明確にする」－発見
- 「地域の中で暮らしていく上ではどのような支援が必要なのかを明確にする」－実践
- 「共に学び、共に語る」－対等

②活動の柱

- (1) 研究会メンバーによる運営会議。
- (2) 大地協全体に周知し、オープン研究会を開催。
- (3) 研究会メンバーでの地域の社会問題、事例検討会を開催。
 - ・ 上記の3つの形式にて、月1回開催予定。
 - ・ (2)、(3) については ZOOM 開催とし、名古屋や東京の日地協メンバーも参加可能としたい。
 - ・ <予算> オープン研究会の講師料 20,000 円 計.20,000 円

③大切にしたい視点

- ・ 障がいのある方、本人の権利と主体性
- ・ 障がいのある方、そのご家族の権利と主体性
- ・ 障がいのある方と関わる職員のスキルアップ
- ・ 地域住民の理解、多くの機関、携わる人とのネットワーク

II. 地域の子ども研究会

①年間テーマ

- 地域の子ども研究会目的『地域の子どもたちと成長しよう』
- 年間テーマ『子どもたちのかけはしに～研究・実践・交流を通して～』

社会情勢も落ち着き、子どもも大人も感染症との付き合い方を学んできたのではないかと思う。また、様々な事を考え、見つめ直す貴重な機会だったようにも感じる。今年度はその学びを最大限に活かしながら、研究・実践・交流を通して今まで「できないこと」を「できること」に変えて子ども達にも自分達にも還元できればと考え、この目的と年間テーマを設定し、方針を定めた。

②活動計画

(1) 開催について

- 開催日：年間予定内の金曜日（おおよそ隔週） 開催時間：10：00～12：00
 - 会場：研究会参加施設 社会情勢により ZOOM の場合も有
- 開催回数については、取り組んでいる研究・研修会や行事の準備など、必要最低限の回数のみ実施する。詳細は、毎月の通信で各施設に知らせる。

(2) 活動の4つの柱

(ア) 子どもたちとの活動

【合同行事・施設間交流・中高生活動等】

- ・ 合同行事等を通じ、様々な人との交流から生まれる出会いとふれあいを得たいと考える。その中で子どもたちが自身を知り、他者を思い、輪が広がるような活動を目指す。
- ・ 今年度も土曜日授業を視野に入れながら、様々な施設や地域住民が参加しやすいような行事の開催を考慮していく。新型コロナウイルスも落ち着き、出来る事が少しずつ増えていく中で、行事のねらいや役割を再確認し、社会情勢や子どもたちのニーズに合った活動となっているのかを見つめ直していきたい。
- ・ また、実際に対面しての活動だけに囚われることなく、この現況下だからこそできる取り組みを図り、年間を通した継続的な子どもたちの交流と、その先にはどういった展望が見出せるのかを考え、様々な経験、自己実現の場が増やせるよう努めていく。また、主となる小学生だけにとどまらず、そこから中高生活動へと連続した繋がりになるよう企画をする。
- ・ 改めて「地域の子ども研究会」の在り方を見直し、自施設の子どもや加盟している施設の子どもだけではなく「地域の子ども」にも再度目を向け、地域を取り巻きながら様々なことに取り組んでいけるように、努める。
- ・ 企画する上では、上記のような事柄を視野に入れ、学童期から青年期へと連続した関わりの中で、充実した活動となるよう、現状において何が出来るのか短期的な計画や試みではなく、中長期的な視点を持ち進めていく。

(イ) 情報交換

【情報交換・あそび提案】

- ・ 学童期の子どもたちと関わる支援員同士、日々の現場での悩みなどをケース検討という形で共有し、個々の視野を広げ、スキルアップへ繋がるように実施する。そして、各施設の取り組み等の情報交換だけでなく、個々の保育実践に基づいた遊びの提案など、即実践に活かせるよう企画・情報共有をしていく。

(ウ) 研修活動

- ・ 地域の子ども研究会企画・主催の研修会として、ねらいや役割を整理し、個々の学びや加盟施設職員のスキルアップにもつながる研修会を目指し、実施内容を検討していく。

- ・ 企画に向けては、『自分たちで学ぶ』ことを意識しながらも、地域の子ども研究会のみならず、大地協本部・加盟各施設・在籍職員の協力を仰ぎ、地域の子ども研究会が企画主体となり実施に向けて進めていきたい。
- ・ 研究会内に研修という形で時間を設け、テーマに沿った内容をスタッフ間で討議する中で、新たな気付きや視野を広げる。また、今までの研修方式も取り入れながら、新しい研究の取り組み方を計画し、「楽しみながら学ぶ」事を実践できるよう取り組んでいきたい。

(エ) 研究活動

- ・ 去年度は、研究内容のテーマを視野に入れながら、スタッフの研究したい内容を全員で共有してきた。その中から実践を伴い、かつ研究を深め、スタッフ間に留まらず自施設の子どもたちや職員に学びを還元できるように、テーマ設定を行う。
- ・ 今年度からは研究活動の取組を少し変えてテーマを一つに絞り、「地域の居場所作り」というテーマで行う。
- ・ スタッフから出た案の中で設定に至らなかったテーマについても、情報交換等を活用し、スタッフ間で討議、子どもたちへ・施設へ・地域へと還元できるよう工夫する。
- ・ そして、そこから研究外(児童部会や全国研修などの研修会)へと繋ぎ、広い視野のもと研究活動の意義と新たな課題を確認できるようにする。

地域の子ども研究会は、以上4つの柱から学び、得られるものを、子どもたちへ、施設へ、地域へ、と還す意識と役割を持ち、研究会での活動に取り組んでいく。

(3) 課題解決に向けて（昨年度からの課題について）

(ア) 参加スタッフの経験を伴う意識共有について

- ・ 全体の他に、個別グループで話し合う時間を設け、互いに高め合いながら研究会に参加していきたい。

(イ) 地域の子ども研究会で、改めて地域で実践を行うために

- ・ 個々で、研究会全体で、年間テーマを常に視野に入れながら取り組んでいく。

(4) 合同行事の実施予定

- ・ 5月29日(日) ともだちフェスティバル開催
- ・ 11月 日() ドッジボール大会開催

Ⅲ.セツルメント研究会

①ねらい

- ・ 戦争やコロナという課題は、私たちが基盤としている地域に、どのような影響を与えたのであろう。子どもの相対的貧困率が上がってきている大阪で、私たちはどのようなアクションを起こすべきなのであろうか。広がる格差や孤立の問題は、人と人とが助け助けられる互助の仕組みを崩していった。人と人の関係性が希薄な社会は、いきづらさを感じ、自分の事だけで精一杯という社会を構築していく。
- ・ 今までは、地域で起きる課題を、人と人の関係で予防していたが、現状はどうであろうか。人と人の関係を改善に向けていくためには、誰かが何らかの仕掛けを展開することが必要である。そして、その役割は、我々「地域福祉施設」の使命として期待が高まっている。しかし、地域福祉施設職員の多忙な状況や、保育士や介護士の確保が困難な状況に陥っている中、地域福祉施設の動きが衰退しているのが現状である。そのような状況の中、私たち地域福祉施設職員が施設内だけで仕事をしているという事は、地域で起こっている、いきづらさは見えないものになってしまう。
- ・ 社会の中で人と人の関りが衰退している今こそ、セツルメント研究会は、地域福祉施設の活動指針となるような、研究、研修、調査を展開していくことを今年度のねらいとしていきたいと考えている。

②活動計画

(1) 研究活動

- ・ この三年間のコロナの影響は、私たちの周りにも深い傷を残しています。施設の中で利用者や家族と関わっていても、地域の中でも様々な課題が見えてきています。課題を抱えた地域住民や利用者の方たちに対して、私たちはどのようなアプローチやアクションを展開することが出来るのでしょうか。現在見えている私たちの課題を深め、参加者全員でシェアし、深めた課題を永岡先生に広げていただく場を開催したいと思います。
- ・ 題材としては、①現在の地域共生社会について ②子ども基本法に基づく新たな取り組みへの課題について ③大地協職員の現実的な蓄積と可能性について等々を考えています。(セツルメント研究会で調整します)
- ・ 深まり広がった話を参考に、私たち地域福祉施設職員は「地域をどのように見ているのか」「私たちには何ができるのか」「地域住民と私たちの活動とは何か」を明らかにしていきたいと思います。今年度は同じテーマを二回継続し、保育士や介護士、施設長や学者の方も対等に話せる、大地協らしい議論を展開していきたいと考えています。

予定 : 2023年7月12日(火)、12月12日(火)

いずれも 19:00~20:45 育徳園にて

(2) 研修活動

- ・ 地域福祉を推進するパートナーとして、地区社会福祉協議会の存在があげられる。しかし、私たちが所在している施設と区社協との関りは、進展しているのだろうか。今年度は西成区社協と合同で「隣る人」の映画開催を通して、地域福祉施設、地区社協、そして地域住民との合同行事を進めていきたいと考えている。この活動を足掛かりに、他地域でも区社協との関りを考えるきっかけにしたい。

(3) 調査活動

- ・ 昨年度予定していた、東京の東横イン下、名古屋ドンキ下、大阪のグリ下を集める若者たちの調査を実施することがとん挫しています。しかし、現状、職員が出向いて調査を実施するにはハードルも高く、若者に対しては、若者が関わること、関わる若者が地域の課題に気付くことが必要ではないでしょうか。大地協が関わる大学関係の教授やその学生たちを巻き込み、共に新しい仲間と一緒に調査活動を展開することを大地協全体で考えて行きたいと思う。

IV. 地域の子育て支援研究会

①目的

- ・ 子どもへの関わりや保護者対応など日々の悩みを、施設を越えて情報共有することで、参加スタッフの視野の広がりを目指す。
- ・ 参加スタッフが気軽に集い、人とのつながりの大切さを実感し、共に学び合うことを目的とする。

②活動計画

- ・ テーマ学習の継続
- ・ 情報交換
- ・ 情報交換やテーマ学習の中で、キーワードとなる人物・施設・事業所等と連携し、学習を深められるよう意見交換や見学などを視野に活動を進めます。

V. 中学生以上の活動(仮)

①現在の子どもたちの背景

子どもの相対的貧困が6/7人に1人といわれ、ひとり親家庭や沖縄の子どもたちの半数が相対的貧困と呼ばれている生活を送っています。不登校の人数やいじめの数、虐待相談件数も増え、また18歳以下の子どもたちの自死も増加している中、子どもたちが自分らしく、安心して安全で自由な場所はどこにあるのでしょうか。同じ学年の中で人と比べられ、また、自分も人と比べてしまう。できる・できないという価値観の中で、競争を常に煽られています。子どもたちの心の中には「不安」という塊を常に抱えて生活を送っています。

②青少年の安心できる居場所づくり

何をしても何をしなくてもいい場所。心が満タンになったら、子どもたちのやってみようという意欲を引き出し、やってみようという思いを具現化することを保障する場所。比べられるのではなく、自分を他者と比べなくてもいい場所。そんな場所を子どもたちと創っていきたいと考えています。

心が満タンになった子どもたちは、本来自分自身が持っている『主体的』『自発的』な力を発揮することが出来るようになります。誰もがありのままの自分で居られる安心・安全・自由が確保される居場所、また、活動を通して世代を越えた様々な人と出会い・話し・考え・知ることで『多様性』が育まれる場を青少年と共に創っていく事を目指します。

③施設や地域で活躍するリーダーの育成

子どもたちが地域福祉の推進を行う担い手として育っていくには、社会や地域の課題を自分事にし、地域の人とかかわり、地域の中で自分のできることを探すところから始まります。そのためにはまず、子どもたちが安心できる居場所の中で、社会の課題や自分たちが気になっていることについて考えを深め、対話をする機会を提供します。

④現在の主な活動

中高大学生（中退者を含む）や社会人等の異年齢での関わりは、現在同学年や同世代との繋がりしかない子どもたちの新しい価値観に触れる機会、多様性と出会う機会、新たな自分に気付く機会につながります。ありのままの自分を大切にしてもらおう体験は、他者を理解する、他者をも大切にすることにもつながっていき、その経験は大きな安心感に繋がり、自分自身をエンパワメントする機会に繋がっていきます。

● 実行委員会の開催（月 1 回）

- ・ 活動の方向性の検討、活動の参加者から出た様々な声を整理、集約、活動の企画や準備等を行う場として毎月第一水曜日に開催しています。

● 中学生以上会議の開催（月 1 回）

- ・ 毎月第3水曜日に開催しています。さまざまな社会課題をテーマに、ゲストスピーカーを招いて、中学生・高校生（中退者も含む）・大学生・社会人が一緒になり対話しながら話を進めています。

● 中学生以上キャンプの実施（年1回）

- ・ 9月に一泊で中学生以上キャンプを実施し、その中で社会問題をテーマに他者と一緒に学び、他の参加者と共に、答えのない問いへの挑戦を通して、新しい発見、新しい自分を見つける機会を設けています。また、専門家のゲストスピーカーを招き「学校では教えてもらえない」新しい社会との接点を創る活動を設けています。

● 地域活動協議会と合同で催しを実施

- ・ 地域活動協議会の方たちとの地域の公園の清掃活動や焼き芋大会などを通して、地域の方との出会いや交流の機会を設けています。

8. 職員厚生部

①ねらい

- ・ 施設間の職員交流を深める。

②活動計画、内容

- ・ 12月 忘年会
- ・ 1月 新年会
- ・ コロナ禍が明け、感染状況や社会情勢などに配慮していきながら、職員の交流の機会が図れるような活動を考えていく。まずは、上記に挙げた「忘年会」や「新年会」など、久しぶりに開催できるよう計画していく。
- ・ その中で、施設間の交流を深め、つながりを作り、職場紹介や仕事観の違いなど施設を越えて互いに話せるようにしていく。また新人職員が参加しやすいようなプログラムなどを計画していく。

9. 広報宣伝部

① ねらい

- ・ ホームページに大地協の活動を随時掲載し取り組みを広く一般に周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 季刊誌大地協ニュースに大地協の活動を掲載し大地協の活動を、協力、賛同いただいている方々（加盟施設、個人会員、大学、図書館、関係機関等）に広く周知する。

② 活動計画

- ・ ホームページに、大地協の年間活動報告、地域福祉の諸問題、各研究会の案内及び報告、バザーのお知らせ及び報告など活動を掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。
- ・ メーリングリストを使い、加盟施設及び個人会員に事務連絡や研修の案内を随時送信する。
- ・ 加盟施設職員でメールでの配信を希望する方に送信することができないのか検討する。
- ・ 季刊誌大地協ニュースに大地協の活動を掲載することによって、大地協の取り組みを周知する。

2023年度（令和5年度）予算書（案）

（1枚目/2枚中）

科目	前年度予算額	今年度予算額	増減（△）	備考	
経常収益	1.受取会費	714,000	714,000	0	
	正会員受取会費（団体）	630,000	630,000	0	会費収入（15,000円×42施設）
	正会員受取会費（個人）	84,000	84,000	0	会費収入（3,000円×28名）
	賛助会員受取会費（団体）	0	0	0	
	賛助会員受取会費（個人）	0	0	0	
	2.受取寄付金	30,000	0	30,000	
	受取寄付金	30,000	0	30,000	前年度実績が無いため計上せず
	3.補助金・助成金	380,000	635,500	-255,500	
	補助金・助成金	380,000	635,500	-255,500	市社協 555,500円 毎日新聞社 80,000円
	4.事業収益	3,110,000	4,290,000	-1,180,000	
	調査研究事業	0	0	0	
	まちづくり事業	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	10,000	0	10,000	前年度実績が無いため計上せず
	自然体験事業費	3,000,000	4,200,000	-1,200,000	セツルの家利用料 3,200,000円 バザー収入 1,000,000円
	子ども健全育成事業	100,000	90,000	10,000	地域の子ども研究会行事収入 14,000円 中高生活活動参加費収入 62,000円
	その他事業	0	0	0	
	5.その他収益	706,450	546,550	159,900	
	受取利息	50	50	0	預金利息
	雑収入	10,000	0	10,000	前年度実績が無いため計上せず
拠点区分繰入金収入	696,400	546,500	149,900		
積立金取崩収入	0	0	0		
経常収益計	4,940,450	6,186,050	-1,245,600		
経常費用	1.事業費	3,875,900	4,960,500	-1,084,600	
	(1)人件費	0	0	0	
	職員給与	0	0	0	
	社会保険料	0	0	0	
	(2)その他経費	3,875,900	4,960,500	-1,084,600	
	調査研究・研修事業	280,000	360,000	-80,000	全体研修会 200,000円 各研究会 40,000円ずつ
	まちづくり事業	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	0	0	0	
	自然体験事業	3,485,900	4,165,000	-679,100	
	・管理費	120,000	120,000	0	
	・バス借料	2,000,000	2,400,000	-400,000	
	・備品・寝具	400,000	250,000	150,000	
	・修繕費	100,000	30,000	70,000	
	・保険料	90,000	95,000	-5,000	セツルの家運営経費 3,485,000円 山の家経費 130,000円
	・光熱水費（電話）	426,000	450,000	-24,000	ワークキャンプ経費 250,000円 バザー経費 300,000円
	・固定資産税	99,900	100,000	-100	
	・自治会協力費	10,000	10,000	0	
	・ワークキャンプ経費	80,000	250,000	-170,000	
	・雑費	160,000	460,000	-300,000	
	子ども健全育成事業	110,000	435,500	-325,500	地域の子ども研究会行事経費 110,000円 中高生活活動活動経費 325,500円
	その他事業	0	0	0	
	2.管理費	550,500	551,500	-1,000	
	(1)人件費	0	0	0	
	職員給与	0	0	0	
	社会保険料	0	0	0	
	(2)その他経費	550,500	551,500	-1,000	
	事務費	260,500	261,500	-1,000	大地協ニュース費用 130,000円 その他 131,500円
会議費	150,000	150,000	0		
会費	110,000	110,000	0	日地協年会費 44,000円 施設協年会費 66,000円	
雑費	30,000	30,000	0		
3.その他費用	1,230,000	674,050	555,950		
予備費	200,000	127,550	72,450		
拠点区分繰入金支出	1,030,000	546,500	483,500		
積立金積立支出	0	0	0		
経常費用計	5,656,400	6,186,050	-529,650		
当期正味財産増減額	-715,950	0	-715,950		
前期繰越正味財産額	2,200,623	2,950,160	-749,537		
次期繰越正味財産額	1,484,673	2,950,160	-1,465,487		

2023年度（令和5年度）予算書（案）

(2枚目/2枚中)

科目		事務簡 報費厚生府 広域協働部	セツルの家	山の家	ワーク キャンプ	バザー	地域の 子ども 研究会	地域の 子育て支援 研究会	地域の 障がい児者 研究会	セツル メント 研究会	中高生 活動	合計	
経常収益	1 受取会費	714,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	714,000	
	正会員受取会費（団体）	630,000		0	0	0	0	0	0	0	0	630,000	
	正会員受取会費（個人）	84,000		0	0	0	0	0	0	0	0	84,000	
	賛助会員受取会費（団体）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	賛助会員受取会費（個人）	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2 受取寄付金	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	受取寄付金	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3 補助金・助成金	0	180,000	0	200,000	0	0	0	0	0	255,500	635,500	
	補助金・助成金	0	180,000	0	200,000	0	0	0	0	0	255,500	635,500	
	4 事業収益	0	3,200,000	0	0	1,000,000	20,000	0	0	0	70,000	4,290,000	
	調査研究事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業費	0	3,200,000	0	0	1,000,000	0	0	0	0	0	4,200,000	
	子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	20,000	0	0	0	70,000	90,000	
その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5 その他収益	50	115,000	131,500	50,000	0	130,000	40,000	40,000	40,000	0	546,550		
受取利息	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50		
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
拠点区分繰入金収入	0	115,000	131,500	50,000	0	130,000	40,000	40,000	40,000	0	546,500		
積立金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常収益計	714,050	3,495,000	131,500	250,000	1,000,000	150,000	40,000	40,000	40,000	325,500	6,186,050		
経常費用	1 事業費	200,000	3,485,000	130,000	250,000	300,000	150,000	40,000	40,000	40,000	325,500	4,960,500	
	(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(2) その他経費	200,000	3,485,000	130,000	250,000	300,000	150,000	40,000	40,000	40,000	325,500	4,960,500	
	調査研究・研修事業	200,000	0	0	0	0	40,000	40,000	40,000	40,000	0	360,000	
	まちづくり事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	スポーツ文化的事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自然体験事業	0	3,485,000	130,000	250,000	300,000	0	0	0	0	0	4,165,000	
	・管理費	0	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	120,000	
	・バス燃料	0	2,400,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,400,000	
	・備品・器具	0	250,000	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000	
	・修繕費	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	
	・保険料	0	70,000	25,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000	
	・光熱水費（電話）	0	370,000	80,000	0	0	0	0	0	0	0	450,000	
	・固定資産税	0	75,000	25,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	
	・自治会協力費	0	10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	
	・ワークキャンプ経費	0	0	0	250,000	0	0	0	0	0	0	250,000	
	・雑費	0	160,000	0	0	300,000	0	0	0	0	0	460,000	
	子ども健全育成事業	0	0	0	0	0	110,000	0	0	0	325,500	435,500	
	その他事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2 管理費	540,000	10,000	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	551,500
	(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員給与	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他経費	540,000	10,000	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	551,500
	事務費	250,000	10,000	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	261,500
会議費	150,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	
会費	110,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,000	
雑費	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	
3 その他費用	674,050	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	674,050	
準備費	127,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	127,550	
拠点区分繰入金支出	546,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	546,500	
積立金積立支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常費用計	1,414,050	3,495,000	131,500	250,000	300,000	150,000	40,000	40,000	40,000	325,500	6,186,050		
当期正味財産増減額	-700,000	0	0	0	700,000	0	0	0	0	0	0	0	
前期繰越正味財産額	2,950,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,950,160	
次期繰越正味財産額	2,250,160	0	0	0	700,000	0	0	0	0	0	0	2,950,160	

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
1	風の子保育園(子どもの家)	松村 寛	533-0004	東淀川区 小松1-11-8	6328-4019	6328-4030
2	都島児童館	守屋美智子	534-0021	都島区都島本通3-16-10-4F	6921-4385	6921-4385
3	平和の子どもの家	松野 五郎	535-0022	旭区 新森 7-1-5	6954-0524	6954-1961
4	育徳園保育所(子どもの家)	早川 友教	545-0021	阿倍野区 阪南町 5-12-5	6621-1901	6621-1904
5	阿さひ保育園つくし会(学保)	西山 幸恵	545-0051	阿倍野区 旭町 3-1-6	6631-4718	6631-1607
6	望之門学童クラブ	藤井 道雄	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
7	今川学園隣保館(子どもの家)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
8	さくらんぼ保育園(子どもの家)	万福 潤一	547-0001	平野区 加美北 7-7-10	6791-2007	6791-8035
9	港隣保館子どもの家(保育園)	山口千扶美	552-0015	港区 池島 1-3-47	6571-3182	6571-7503
10	四貫島友隣館(子どもの家)	嶋田 良介	554-0022	此花区 春日出中1-15-13	6461-3713	6462-1072
11	愛染園愛染橋保育園・児童館	柘 武男	556-0006	浪速区 日本橋東 2-9-11	6632-5640	6632-5645
12	児童館・今池こどもの家	藤川 晴之	557-0016	西成区 花園北 2-16-26	6632-7020	6632-7020
13	長居保育園	宮川友理子	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
14	やまと保育園子どもの家	三谷 節子	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1746	6682-1786
15	抄社教ミッド社会館ミッド保育園	富田恵美子	532-0028	淀川区 十三元今里1-1-52	6309-7121	6309-7123
16	育徳園(コミュニティーセンター)	廣谷 直樹	545-0021	阿倍野区阪南町5-15-28	6621-1901	6629-1979
17	大阪市立西成市民館	徳山 基治	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-1	6633-7200	6633-7203
18	東三国デイサービスセンター なみはや	和田美恵子	532-0002	淀川区 東三国 2-12-16	6350-2880	6350-2887
19	水仙の家(高齢者デイサービスセンター)	玉岡 泰正	533-0004	東淀川区 小松 1-12-10	6370-2266	6370-2325
20	特別養護老人ホームひまわりの郷	木幡利至朗	534-0021	都島区都島本通 4-10-19	6924-8880	6924-8883
21	特別養護老人ホームいくとく	加藤 久美	545-0001	阿倍野区天王寺北3-18-16	6713-1165	6714-1185
22	高齢者デイサービスいくとくⅡ	山田 芳子	545-0013	阿倍野区 長池町 18-20	4399-0120	4399-0121
23	愛和デイサービスセンター	安藤 勝子	547-0002	平野区 加美東 1-6-35	6796-3520	6796-3751
24	長居子どもの家	宮川 成雄	558-0004	住吉区 長居東 4-11-16	6691-3669	6691-8292
25	地域生活支援センター 風の輪	加藤啓一郎	533-0004	東淀川区 小松 1-13-3	6323-6395	6323-2856
26	都島児童センター	丸山 智子	534-0021	都島区 都島本通 3-4-3	6921-5323	6921-5783
27	愛信保育園	金 恵心	544-0032	生野区 中川西 2-5-15	6712-2020	4303-4778
28	松の実保育園	松本 千幸	545-0021	阿倍野区 阪南町1-16-10	6623-5400	6628-8385
29	望之門保育園	竹林 弘美	545-0052	阿倍野区阿倍野筋5-13-17	6651-7741	6652-8841
30	育和白鷺学園(保育園)	岡田 百代	546-0002	東住吉区 杭全 3-9-17	6719-2697	6719-2698
31	今川学園(保育園)	篠瀬実千代	546-0003	東住吉区 今川 3-5-8	6713-0277	6719-4755
32	北田辺保育園	戸田 正三	546-0044	東住吉区 北田辺 3-6-23	6713-0915	6713-0925
33	メリーガーデン保育園	天野佐知子	550-0013	西区 新町 4-13-16	6532-1360	7501-4278
34	めぐみ保育園	梅田るつ子	551-0011	大正区 小林東2-3-5-101	6553-4025	6553-5005
35	わかくさ保育園(あおぞら保育)	藤川 晴之	557-0004	西成区 萩之茶屋 2-9-2	6633-2965	6633-2970
36	愛染園南港東保育園	森 典子	559-0031	住之江区南港東1-6-3-101	6612-1800	6612-1820
37	大国保育園	西野 伸一	556-0014	浪速区 大国 2-13-1	6649-6182	6649-5821
38	波除学園(アフタースクールKIDS)	佐藤 美智	552-0001	港区 波除 5-4-7	6585-3391	6585-3588
39	安立保育園	本山寿美子	559-0003	住之江区 安立 4-6-17	6671-8846	6671-8853
40	特別養護老人ホーム ガーデン天使	嶋田 真奈	554-0024	此花区 島屋 4-1-11	6460-0028	6460-0025

	施設名	施設長	〒	所在地	TEL	FAX
41	やまと保育園	名城 嗣盛	559-0014	住之江区 北島 3-17-1	6682-1741	6682-1786
42	平和の子保育園	谷川 勝敏	535-0022	旭区 新森 7-1-5	6954-0524	6954-1961

特定非営利活動法人 大阪市地域福祉施設協議会 個人正会員名簿

	会員名	〒	住所	TEL	所属
1	出水 敦美				西成児童館の会
2	永岡 正己				日本福祉大学
3	増岡 智典				
4	大川 明宏	546-0023	大阪市東住吉区矢田6-8-29	6609-6300	児童発達支援センターキング・ハイム
5	川畑 光大				
6	大方 美香	546-0013	大阪市東住吉区湯里6-4-26	6702-0334	大阪総合保育大学
7	石田 博一	545-0022	大阪市住吉区万代3-12-23	7492-8682	ティ・イー・ピエスあおい空
8	工藤 正和				
9	山本 征範				
10	浦田 ヤス子				
11	寺田 登紀子	545-0021	大阪市阿倍野区阪南町5-12-5	6621-1901	育徳園保育所
12	西口 智子	558-0004	大阪市住吉区長居東4-11-16	6691-3669	長居保育園
13	杉江 悦子	〃	〃	〃	〃
14	吉田 妙子	〃	〃	〃	〃
15	竹内 久美	〃	〃	〃	〃
16	宮川 友理子	〃	〃	〃	〃
17	宮川 ヒサ	〃	〃	〃	〃
18	川崎 洋幹	557-0001	大阪市西成区天下茶屋東1-13-17-1階	6690-0177	エートル社会福祉士事務所
19	佐藤 剛				
20	飯田 信也	534-0021	大阪市都島区都島本通2-13-22	6929-1221	大阪市立総合医療センター
21	宮川 成雄	558-0004	大阪市住吉区長居東4-11-16	6691-3669	長居子どもの家
22	宮川 佳昌	〃	〃	〃	長居保育園
23	岡本 周佳				
24	渡久地 歌子	534-0021	大阪市都島区都島本通3-4-3	6921-0321	社福) 都島友の会本部 特非) 子育て運動えん
25	吉田 正義				
26	金 恵栄				
27	倉光 慎二				
28	海老子隆一				
29	森井 利枝				
30	市村 光恵				

